

北里研究所 名誉理事長

おおむら さとし  
大村 智さん



埼玉県北本市に新病院(北里研究所メディカルセンター病院)を建てようと奔走していたころの大村さんは、午前中は研究、午後は研究所経営の会議、夜は病院建設に反対する地元の開業医に会って理解を求める生活。いつも一人で

2、3人分の仕事を抱え込む働きぶりを支え続けたのが妻の美視子さんだった。

本名は文子ですが、私の母が同名だったので、美視子と名のるようになっていました。私が山梨大学の助手になる時に結婚し、貧乏をともにしました。米国では持ち前の気さくで大学の仲間やティシュラー先生に気に入られ、人気者でした。商業数学を学び、そろばんが得意で米国人相手にそろばん教室を開いたりもしました。



妻の美視子さんが研究を支え続けた

経営者の仕事を増やすことに反対した妻

芸術による癒やし取り入れ、病院に絵画300点超

何かに秀でた異才、地方で育てること必要

新しい病院は地域の診療所との連携を心がけ、うまくいっていると思います。治療のため東京まで出かけていた患者さんたちが地元で高度な治療を受けられるようになりまし。また、北里柴三郎先生からの伝統である予防医学を重視し、病院主催でヘルスケア市民講座を開き、病気になるから生活につい

張ったりしていました。自分で描くことは長続きしませんでした。研究所に入るロイヤルティ収入の1%は発明の報奨金として私がいだけたので、そのお金などで好きな絵を買ひ集めたのです。仕事で気持ちが高ぶったときなど、絵を見ると落ち着くのです。縁があって1997年から6年間、女子美術大学の理事長を引き受け、創立100周年(2000年)の事業を成功させた。いったん辞したが、

研究者と結婚したことに誇りを持っていました。だから私が次第に経営者の仕事を増やしていくことには反対でした。それでも病院建設が暗礁に乗り上げた時には、北本市の知り合いを訪ねて誘致の署名活動を起こしてもらった。働き掛けるなど、私を支えてくれました。長い闘病生活の末、10年前に他界しました。

「絵のある病院」を建設時からコンセプトに盛り込み、廊下などに300点以上の絵画を飾っています。ヒーリングアートという言葉が新しい時代から、芸術による癒やしを病院に取り入れました。私は子供のころから絵が好きで、カレンダーの絵を切り抜いて

07年から再び就任している。一方、絵画収集が高じた末に、郷里の山梨県韮崎市に美術館をつくった。女性の芸術家を展示の中心にしたユニークな美術館で、08年に館も収蔵品も同市に寄贈した。今は幕末の思想家、横井小楠にまつています。幕末の志士に影響を与えた人ですが、不思議な縁を感じるのです。小楠の高弟に山田武甫という人がいますが、武甫が古城医学校(熊本大学医学部の前身)に招へいたオランダ人医師のマンズフェルトが北里柴三郎

研究を経営しよう

⑤

田武甫という人がいますが、武甫が古城医学校(熊本大学医学部の前身)に招へいたオランダ人医師のマンズフェルトが北里柴三郎

の才能を見いだし世に出します。小楠には嘉悦氏房という弟子もいて、彼の娘がつくった嘉悦学園は、美視子の母校です。また、女子美大の創設者である横井玉子は、小楠の甥で、小楠の養子になった横井左平太の妻なのです。歴史は未来を語るものだと思います。将来のことを知るには歴史に学ぶ必要があると感じています。94年、山梨県が設けた山梨科学技術会議の会長に就任する。それを契機に理科教育への関心を高め、県内の研究者や企業が組織した山梨科学アカデミー設立に尽くした。県内の大学教授に小中、高等学校に向いて話をしていただいたり、日本を代表する科学者を招いて講演会を開いたりし、子供たちが科学の楽しさに触れる機会を増やそうとしています。横井小楠が福井藩主の松平春嶽に提出した国是十二条に「学校を興せ」の一条がある。教育が国の基本だと小楠は考えました。科学技術立国と政府はいいですが、東京一極集中では困ります。人材も全教科がまんべんなくできる秀才をではなく、何かに秀でた異才を多様な地方で育てる必要があると思います。(聞き手は編集委員 滝順一)

次回はフランスパン職人のフィリップ・ピゴさん